

あかれんが vol.1

Yokohama Chuo Hospital AKARENGA



病院長 藤田 宜是

『新年度ご挨拶 藤田病院長より』



新緑の候、若葉の薫る清々しい季節がやって参りました。街は眩しいばかりの新社会人や新入生が春の光のなかに溢れる今日この頃です。この広報誌に目を通されている皆様も希望に満ちた健やかな毎日をお過ごしのことと御慶び申し上げます。さて、横浜中央病院は皆様のご支援によって地域医療機能推進機構（JCHO）となって4年目の春を迎えることができました。今後も地域包括医療を推進していくうえで私達には様々な課題が山積しています。今期はこれを皆様と力を合わせて片付けていきたいと考えています。

① 救急医療への貢献

市民の安心・安全への貢献の第一歩は救急医療ではないでしょうか。夜間・救急の診療応需を完璧なものにしたいと考えています。既往症や服薬履歴情報の入手により精度の高い医療を目指します。

② 病診連携の充実

在宅医療の必要性が叫ばれている現在、病診連携の充実による家庭医の皆様への援助は地域病院の義務だと考えています。また、安定期に入った方の治療継続については居住性・専門性を配慮してお願いしたいと考えています。

③ 病院新築の具体化

病院棟の老朽化は顕著で、皆様からも強い要望が寄せられています。現在、関係各所に働きかけて新築計画を検討中です。今期は計画の具体化を実現したいと考えています。早期に発表できるよう鋭意努力します。

④ 健診事業の拡充

健康診断による疾病の早期発見と早期治療は市民の健康寿命や医療経済を考える上で大切です。現在も健診事業を行っていますが、診断結果を治療に直結させることで市民の健康維持に貢献できると考えています。

今期も医療・介護の一体化の基に、市民が安心した生活を実現・持続できるよう貢献していきたいと思いますのでご支援をよろしくお願ひします。

『就任挨拶 新事務部長』



地域の医療機関関係者の皆様はじめまして。私、この4月に法人内的人事異動により事務部長に就任しました森田克徳と申します。

皆様には平素から横浜中央病院の運営にご協力、ご尽力いただき誠にありがとうございます。まだまだ当院の諸状況の把握ができておりませんが、連携などに関しましてご不明な点やお困りのことがございましたら何なりとお申し付けください。全力で業務に努める所存ですのでよろしくお願ひいたします。



事務部長 森田 克徳



『診療科ご紹介』

眼科 寺田 久雄先生

立川市の災害医療センターより、今年1月に参りました。月曜から金曜まで、毎日元気に診療を行っています。また白内障手術も再開しました。白内障手術は、前日の午後入院して翌日午前に手術を行い、3日目の朝の診察後に退院の2泊で対応しています。糖尿病、透析中、抗凝固剤内服中など合併症のある患者さんの手術も対応しています。さらにボトックス注射や、VEGF阻害剤の硝子体内注射の対応を予定しています。該当する患者様がいらっしゃいましたら、是非ご紹介をお願いいたします。



外来担当医及び診療時間 診療時間午前 9:00 ~11:30

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土日休診
第1診察室	寺田久雄	寺田久雄	寺田久雄	寺田久雄	寺田久雄	
第2診察室		花崎浩継	小熊亜弥	原田奈月子		

新任医師のご紹介



外科
小笠原 康夫先生

地域の皆さんのお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



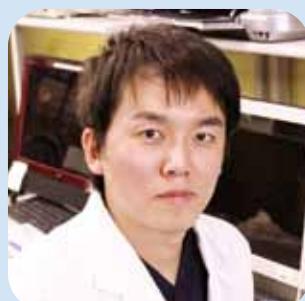
脳神経外科
後藤 公聖先生

頭部外傷、脳卒中の受け入れを積極的に行いたいと思います。宜しくお願いします。



整形外科
伊藤 友久先生

外傷から変性疾患まで幅広く対応させていただきます。



消化器・肝臓内科
松井 宣昭先生

肝疾患をメインに診療して参ります。宜しくお願いします。



腎臓・人工透析内科
池田 紘理先生

慢性腎臓病患者は現在1330万人、透析患者数32万人を超えており、早期発見・治療が大切と考えております。可能でしたら尿検査の実施や採血していただき、尿タンパク2+、尿タンパク+かつ尿潜血+、eGFR50mL/min/1.73m以下でありましたら早期に当院腎臓内科にご紹介いただけると幸いです。地域のみなさまの健康維持に貢献できるよう頑張ります。



整形外科
平田 一真先生

外傷系、何でも相談してください。よろしくお願いします。



～看護部のご紹介～



当院は、急性期医療から在宅医療まで、地域住民の皆様が安心して暮らせる地域医療を支えることを使命としています。住み慣れた地域で、安心して、その人らしく生活できるような支援を目指しております。今回は、特定行為研修を終えた看護師の紹介と、認定看護師の活動について、ご紹介いたします。

特定行為研修を終えて

皮膚・排泄ケア認定看護師 佐伯 郁子

特定行為は、診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる38行為です。特定行為研修を受けた看護師は、医師・歯科医師があらかじめ作成した手順書（指示）によって、タイムリーに特定行為を実施することができるようになります。

今回私は、褥瘡や慢性創傷の壊死組織の除去、陰圧閉鎖療法、高カロリー輸液量の調整、脱水に対する輸液など、3区分5行為の研修を修了しました。研修を修了したことで、褥瘡や創傷をもつ患者様の脱水の補正やデブリードマンなどを、看護の関わりの中で適時行うことで、重症化を予防し、患者様の希望する生活に則した医療・看護の提供ができるようになります。

患者様の安心・安全を第一に考え、急性期医療から在宅医療までを支えていくことができるよう、地域の皆様にご活用いただき、貢献していきたいと考えております。

認定看護師紹介

当院には、5分野6名の認定看護師が在籍しています。より良い看護を提供するために患者様、ご家族、スタッフに対し実践・指導・相談を行っています。温かい心と気配りの医療を基本理念とし、地域で必要とされる医療の提供を目指しています。



地域の医療介護職を対象に地域に暮らす方々の生活の質の向上を目的とした研修会を開催し（H28.2月地域交流会）、活発な意見交換の場となり多くの意見をいただきました。今年度もいただいた意見を基に研修会を企画しています。また、地域住民の方々に対し、健康維持・増進に関する研修会開催も予定しています。

《感染管理》

医療関連感染サーベランスの実践や感染予防管理システムの構築などを行っています。

《皮膚・排泄ケア》

褥瘡などの創傷ケア、ストーマや失禁などの排泄ケアの支援を行っています。

《摂食嚥下障害看護》

食べる一連の動作をアセスメントし、安全に食事が摂取できるよう支援します。

《がん化学療法看護》

がん化学療法薬の副作用症状を緩和し、患者様の生活の質の向上を目指しています。

《緩和ケア》

疼痛・呼吸困難・全身倦怠感・浮腫などの苦痛症状の緩和によるQOLの向上、患者・家族への看取りケアを行います。



地域密着型を目指し、日々奮闘しています。お困りごとがございましたら、お気軽にご相談ください。

『医療技術部門ご紹介』(放射線科より)

我々、JCHO横浜中央病院放射線科は診療放射線技師12名（うち4名女性技師）で構成されています。

業務内容としてはX線撮影・CT検査・MRI検査・透視検査・血管造影検査と多岐にわたり、マンモグラフィーは女性技師が撮影を行なっています。

その中でもCT・MRI検査は、登録医の先生方や近隣の医院・クリニックの診療へ役立てていただけるように検査依頼をお受けしています。

また、院内の健診業務としてDIP法を用いた骨密度測定や胸部の低線量CT検査・内蔵脂肪測定、MRIでの脳ドックも実施しています。



「新規登録医ご紹介」

下記の医院、クリニック様に新たに当院の登録医になっていただきました。

No.	登録医 医科
126	オーシャンクリニック
127	みらい在宅クリニック
128	大通り公園クリニック
129	前川メディカルクリニック
130	高橋皮フ科クリニック
131	武安医院
132	赤門医院
133	本牧眼科クリニック
134	古川耳鼻咽喉科医院
135	秋山眼科医院
136	鈴木内科診療室
137	森が丘医院

No.	登録医 歯科
80	石川町デンタルクリニック
81	宮地歯科クリニック

「登録医のメリット」

- ① 横浜中央病院 登録医の称号をご使用いただけます
- ② 診療予約等の優先診療が可能となります
- ③ 優先的に逆紹介いたします
- ④ 利用可能な設備（CT・MRI・手術室・会議室）
- ⑤ 当院ホームページ等にて登録医としてご紹介いたします
- ⑥ 当院で開催される学術集会へのご参加ができます
- ⑦ 定期的にお知らせをお送りします
- ⑧ 紹介患者様の情報を閲覧頂けます
※事前に紹介患者様の了承が必要です
- ⑨ 紹介状様式をお届けいたします
- ⑩ 紹介患者様は原則として紹介元に逆紹介いたします



登録医証

おわりに…

今年度から院外報の名称を『あかれんが』と命名いたしました。横浜市中区で長らく地域に密着した医療を提供して参りました当院にはピッタリの名称だと思います。今後も定期的に発行し、電子媒体として当院HPにも掲載しますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員会委員長 地域ケアサービスセンター長 副院長 大岩功治

